

さとやま地域づくり活動体験促進事業 「さとやま GOOD プロジェクト」の実施について

1 要旨・目的

中山間地域の地域づくり人材の裾野を拡大していくため、地域づくり人材が造成する活動体験プログラムを、8月19日（土）から順次実施する。

2 現状・背景

- 令和3年度のひろしま さとやま未来博 2021 のオンライン体験プログラム参加者等を対象に、令和4年度から、地域づくり活動実践者（以下「実践者」という）が造成する、活動体験プログラムを通じて行動変容を促し、地域づくり活動に一步踏み出していただくための取組を進めている。
- 昨年度は、10件の活動体験プログラムに、合計100名の参加があり、そのうち活動を始める意向を示した11名の中には、活動着手の準備を進める者が表れ始めている。
- 令和5年度は、10件の活動体験プログラムの展開に加え、実践者とのつながり作りや、活動に向けた相談等のフォローを充実させることにより、地域づくり活動の実践に向け、着実なステップアップを図る必要がある。

3 事業の概要

(1) 対象者

中山間地域の地域づくり活動に関心のある県民等

(2) 事業内容（実施内容）

- 地域に根差した課題をテーマにした体験プログラムを、10組の実践者に造成いただき、参加を募る。
- 参加者数は、各プログラムで10人程度とし、プログラム造成者と課題意識を共有し、活動を体験してもらい、プログラム終了後の造成者とのつながりの継続に結びつける。
- 参加後に参加者同士が自身のアイデアや想いを交わす機会を設け、横のつながりの強化、参加者アンケートの回答を基に、活動の実施に向けた個別相談対応の実施等のサポートを行う。

(3) スケジュール

令和5年8月19日から11月25日まで（詳細は、別記「実施する活動体験プログラム」のとおり）

(4) 予算（単県）

4,790千円

4 その他（関連情報）

<https://satoyamagood.team500.hiroshima.jp/>

(別記)

実施する活動体験プログラム

開催予定日 (開催場所)	テーマ	体験活動の内容等	主なターゲット層
8月19日(土) (世羅町)	交流 拠点 づくり	○ 古民家改修作業を体験しながら、里山でのこれからの暮らしや、里山の資源の活かし方を考えるワークショップ	地域の未利用資源の活用や交流拠点づくりを検討中の人
8月26日(土) (尾道市瀬戸田町)	鳥獣被害対策	○ 鳥獣被害の実態やジビエ活用について、山の散策、猪解体見学などを通じて学ぶワークショップ	鳥獣被害対策やジビエ活用に興味関心のある人
9月9日(土) (廿日市市宮島町)	環境 保全	○ 自然環境を活かした観光資源の開発を、トレッキングの体験やツアー造成の背景を聞きながら、自分なりの企画を考えるワークショップ	環境保全に興味関心があり、自然環境を活かした観光資源開発の実施を検討している人
9月30日(土) (三次市三良坂町)	情報 発信	○ 地域の人々の魅力を発信する方法を、実際に冊子の1ページの企画を考えながら学ぶワークショップ	地域の魅力発掘・発信に意欲のある人
10月14日(土) (庄原市山内町)	空き施設活用	○ 移住希望者が移住しやすい環境を整備するため、空き家の片付けについて、事例紹介や作業体験を通じて学ぶワークショップ	移住者促進の活動や、空き家問題の解決に意欲のある人
10月21日(土) (広島市安佐北区)	特産品 開発	○ まこもを活用した休耕田活用と特産品開発の事例から、環境保全と特産品づくりについての学習	休耕田の活用や地域資源を活用した特産品づくりに意欲のある人
10月28日(土) (尾道市因島重井町)	耕作放棄地活用	○ 休耕田を活用して、パパイヤの生産から加工までを行う現場を見学、特産品開発簡易企画体験を通じて、休耕田活用や6次産業化について学ぶワークショップ	休耕田の活用や、6次産業化に興味関心のある人
11月3日(金・祝) (呉市安浦町)	空き施設活用	○ 空き家を活用して立ち上げたブルワリーを見学しながら、地方起業や空き家活用のノウハウの学習	空き家の活用や、地方での起業を検討中の人
11月11日(土) (安芸高田市向原町)	観光 振興	○ 神ノ倉山を見学しながら、一緒に活用方法を考えるワークショップ	山林保全や地域資源を活かしたイベントを検討中もしくは、実施のフィールドを探している人
11月25日(土) (廿日市市津田)	交流 拠点 づくり	○ 地域食堂で実際に作ることから提供までを体験し、地域の交流拠点づくりについて学ぶワークショップ	地域資源を活かしたモノづくりや交流拠点づくりに意欲のある人